

【工学部第二部 経営工学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

実力主義の伝統を堅持しつつ、高い専門性と倫理観、国際的な視野を持った工学系人材の養成を目標とし、本学科の教育方針に沿って構成された授業科目を履修して、所定の単位を修得し、以下の能力を身に付けた学生に卒業を認定して、学士(工学)の学位を与える。

1. 自然・人間・社会に係る幅広い教養を修得し、専門分野の枠を超えて横断的に物事を俯瞰できる能力
2. 専門分野に応じた基礎学力と、その上に立つ十分な専門知識と技能
3. 卒業研究を通じた経営工学分野における問題発見・解決及び課題達成の手法
4. 修得した専門知識や教養をもとに、論理的・批判的に思考し、積極的な姿勢で判断し、行動する能力
5. 修得した専門知識や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力
6. 修得した専門知識や教養をもとに、専門分野に応じたキャリアを形成し、自己を管理する能力

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 本学科では、理学的基礎を重んじる本学の建学の精神と、「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」という教育研究理念、さらに応用を重んじる工学部の特性を加えて、基礎と応用の双方を重視した、人材育成等の目的を実現するためのカリキュラムを編成する。
2. 高度化する情報化社会の中で必要とされる管理技術を、工業の固有技術と有機的に関連づけた総合的なカリキュラムを編成する。
3. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持しつつ、高校新卒者、社会人及び編入生等、多様化する入学生の学力に応じて、各専門分野の基礎科目を理解する能力を養う数学、物理学、英語の補習科目を配置して基礎学力の向上を図る。
4. 段階的な知識の修得を図り一般的素養を深めるために、「一般科目」、各専門分野の基礎をなす「基礎科目」、各専門分野に応じた「専門科目」を配置する。また、基礎学力を身に付けた状態で勉学できるようにするため、英語、数学、物理学の履修に関して2年進級条件、また、最終学年の卒業研究についても着手条件を設ける。
5. 「一般科目」「基礎科目」「専門科目」では、国際性、コミュニケーション能力、課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、キャリア形成力、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
6. 「一般科目」においては、自然・人間・社会を幅広く俯瞰できる能力、倫理的・批判的思考力、コミュニケーション能力、国際性、自己管理能力などを養う授業科目を効果的に配置する。
7. 基礎科目においては、「基幹基礎科目」、「専門基礎科目」を効果的に配置し基礎学力を強化した上で「専門科目」との接続を図る。
8. 「専門科目」においては、専門知識を深化させると共に、社会への工学的アプローチ能力を養成するため、講義の他に、問題発見・解決能力の向上を主眼とした、多くの実験、実習、演習、キャリア教育等の授業科目を組み合わせることで、専門分野の深化を図る教育を実施する。
9. 学士課程の集大成として、最終学年時に卒業研究を配置する。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、様々な入試形態を通じ、

1. 大学入学前までの経歴を通して行ってきた学習を基盤とし、さらに社会に対して工学的アプローチを取ることができる能力を獲得しようとする、意欲のある人を求める。
2. 自主的に学習を続け、工学の分野においてスキルアップすることで、自らの人生を切り開いていこうとする社会人を求める。
3. 理科、数学・語学に高い興味や関心を持つとともに、その他の科目にも幅広い好奇心を持つ

て学習してきた人を求める。

4. 夜間の学習と昼間の活動を総合的に管理し、計画的に学習を進めていくことの出来る人を求める。